

初夏をつけるクリンソウ  
20万本のピンク色の花が咲き誇る

6月21日、上里にある町民の森自然公園で第4回クリンソウまつり(津別観光協会主催)が行われ多くの来場者が20万本の鮮やかなピンクの花に目を奪われました。

元役場職員でクリンソウの繁殖に努める但野勝さんの尽力により昨年より群生地が広がり、散策コースも延長されました。

開会式で佐藤久哉観光協会会長は、「開花時期が短くまつりの時期設定が難しいです。でもそれほど貴重ですばらしい花なので1日楽しんでいただきたい」と挨拶。

今年は新型インフルエンザや景気後退などにより昨年ほど客足は伸びなかったものの、訪れた人々からは「きれいだね」といった声が多く聞こえ、津別のイベントとしてすっかり定着しました。



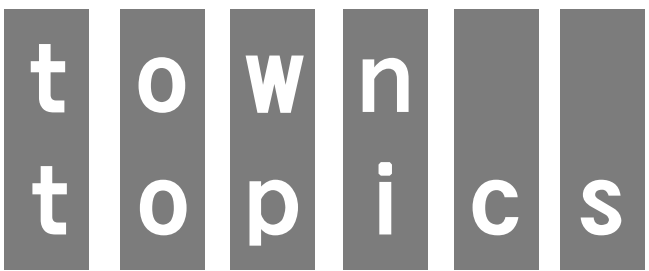
830本の苗で絵を描こう  
バスターミナルの花壇を彩る

「花壇に絵を描こう」コンクールで津別小学校5年生の後藤颯さんが描いたデザインが最優秀賞に選ばれ、6月6日バスターミナル花壇で受賞式と花の苗植えが行われました。マリーゴールドやアゲラタム、ペコニアなど計830本の苗を使って、「つべつ」と描かれているのが特徴。



4回目の開催となる今回は津別小学校と活汲小学校から24点の作品の応募がありました。優秀賞に前田愛佳さん(活汲小3年)、工藤未唯さん(活汲小3年)、仲田一年(仲田一年)、葉さん(津小4年生)、笹本梨真さん(津小3年)がそれぞれ受賞しました。

まちのわだい



津別峠開きで安全祈願  
郵便局員による施設清掃も行われる

津別観光協会の主催で津別峠開きと交通安全祈願祭が5月29日に行われました。商工会や網走南部森林管理署、津別警察官駐在所、交通安全協会、郵便局などの関係者が出席して、訪れる皆さんの安全を祈願しました。

これに合わせて23日には、毎年恒例となった郵便局員による展望施設の清掃活動が行われました。あいにくの曇り空で風も冷たく肌寒い中、町内の各郵便局の職員らが参加し、窓ガラス窓ガラスや壁、イスやテーブルなど6ヶ月の汚れを丁寧に拭き取っていました。この清掃ボランティアは今年で6年目で、関係者から大変喜ばれていて、多くの観光客の訪れを期待します。



6月18日、津別町字双葉の網走川河川敷地で大地と海をつなぐ植樹(網走漁業協同組合・西網走漁業協同組合主催)が行われました。この活動は自然環境の保全と回復に努め、豊かな自然を未来へ残すことの大切さと海と山に関わる人たちの共生を目的として、漁業組合としては8年目の活動になります。挨拶に訪れた佐藤副町長は「大きく育つ木になるよう心を込めて皆さんと植樹を行いたい」と言葉を述べました。その後、町民や漁業組合関係者約80人が広葉樹250本の植樹を行い、30分ほどで植樹は終了しました。



海に栄養をもたらす自然を守る  
漁業関係者が植樹を行う!

花いっぱい街づくり  
フラワーロードが街を彩る

津別町街並づくり推進会議(佐藤久哉会長)による国道、沿道の花壇の苗植えが6月15日に行われました。商店街の人たちは、サルビア(赤)、マリーゴールド(黄)約8000本の苗を丁寧に植えていました。



また、沿道にはサルビア(赤)、アゲラタム(紫)、ペコニア(赤)を植えた木製のフラワーボックス65個、フラワーバケット28個が設置されました。作業は9時30分が始まり午前中に終わり、花は道行く人に元気を与え目の保養にもなり、心を癒してくれます。

少年少女体力測定会に62人が参加  
日頃の練習成果を発揮



町内の小学生を対象にした体力測定회가5月30日、農業者トレーニングセンターで行われました。参加したのは町内の水泳・サッカー・バレーなどのスポーツ少年団や一般参加の子ども62人が、握力や20mシャトルラン、反復横跳びや立ち幅跳びなど6種目を力いっぱい挑戦しました。普段から体を鍛えている子ども達は各種目を軽々とこなしていました。

夜間防犯パトライトがスタート  
空き巣や不審者から地域を守る



6月5日、中央公民館裏駐車場建設業協会と建設業振興会による夜間防犯パトライト点灯運動の出陣式が行われました。この活動は、夜間における空き巣及び不審者等に対する防犯活動及び交通安全啓蒙活動として3年前から行われています。今年も6月から9月末まで毎週日曜日の午後9時から約1時間にわたり町内10ヶ所から赤色灯を点灯し地域の安全を守ります。出陣式で津別警察官駐在所の守山所長は「津別の安全のために協力いただきありがとうございます。何かあったときは警察を巻き込んで対処するようにしてください」と激励の言葉を送りました。

「将来ある子ども達のために」  
町へたくさんのお土産をいただきました

6月4日、美幌歯科医師団津別歯科代表の白木雅之さんが歯の衛生週間にあわせ427本の歯ブラシを寄贈しました。昭和59年から続いている歯ブラシの寄贈は例年、小学生を対象に寄贈を行ってききましたが、今年発生した新型インフルエンザの関係で、中学生の歯の検診が行われないことから中学生分の寄贈も行われました。

6月8日には、津別ライオンズクラブ(布瀬勝明会長)より教育委員会へ『アジャタバスケット(玉入れ用具一式)』の寄贈をいただきました。今回の寄贈は当クラブ創立45周年を記念して行われたもので、受け取った阿部教育長は「放課後児童クラブの子どもたちや、高齢者の人たちのために使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

